

ジブチ月例報告 (2023年5月)

在ジブチ日本国大使館

【外政】

- 5月6日、ゲレ大統領は、チャールズ三世国王からの招待を受けて英国を訪問し、同国王の戴冠式に出席。また、スナク英首相と首脳会談を行い、スナク首相よりスーダンからの英国人の退避に際してのジブチの協力に謝意を表明。両首脳は、二国間関係の深化の決意を表明。
- 5月9日、ゲレ大統領は Dafallah Al-Hag スーダン暫定主権評議会議長特使の表敬を受け、同特使は姉妹国スーダン情勢について報告するとともに、ゲレ大統領の調停努力に対する謝意を表明。
- 5月12日、外務・国際協力省は、スーダンの民間人を守るための合意文書であるジッタ宣言のスーダン国軍及び即応支援部隊（RSF）による署名を歓迎する旨発表。
- 5月16日、ゲレ大統領は Benjamin Bol Mel Kuol 南スーダン大統領特使の表敬を受け、キール南スーダン大統領からの書簡を受領。同書簡は、スーダン紛争の交渉による解決のための方策についての協議と協力の強化に関するもの。
- 5月17日、ハディ港湾フリーゾーン庁長官は Benjamin Bol Mel Kuol 南スーダン大統領特使及び James Pitia Morgan 駐ジブチ南スーダン大使（兼轄）と面会し、港湾分野における二国間関係、油田用機材の貨物輸送、南スーダンの原油の輸出に際しての陸上輸送によってジブチの港湾を経由して出荷する方法について意見交換。
- 5月19日、ゲレ大統領は第32回アラブ連盟首脳会議に出席するため、サウジアラビアを訪問し、スピーチにおいてパレスチナ問題、スーダン紛争、イエメン・ソマリア・リビア情勢、シリアのアラブ連盟への復帰等について言及。
- 5月21日～25日、ジブチ外交研究所（IED）は欧州連合（EU）との共催で国際機関や地域機関に対するジブチ外交についてのセミナーを開催。同セミナーはジブチ外交官を対象とし、多国間外交においてジブチが果たしうる役割について焦点を当てたもの。
- 5月27日、ゲレ大統領はスーダン危機に関するAU平和安全保障理事会（PSC）にビデオ会議形式で参加し、スピーチにおいてスーダンにおける敵対行為の迅速な停止等について言及。
- 5月29日、ゲレ大統領はエルドアン・トルコ大統領の再選に対する祝意の電報を发出。

【経済・開発】

- 5月3日、ヨニス・エネルギー大臣は Anas Benbarka 世界銀行上級エネルギー専門家

をヘッドとする世界銀行代表団の表敬を受け、ジブチ・エチオピア第二送配電線接続プロジェクトの実施について協議。

●5月8日、ヨニス・エネルギー大臣はHélène Vidon フランス開発庁（AFD）長官と行政機関施設のエネルギー効率化プロジェクトの進捗について協議。

●5月9日、カヤッド・ジブチ地熱公社総裁と新たに着任した Nancy Ostrowski 米国国際開発庁（USAID）ジブチ事務所代表は、水素及び鉱物資源分野におけるパートナーシップの拡大に関して意見交換。

●5月17日、ユスフ・ジブチ商工会議所会頭は Genk Uraz 駐ジブチ・トルコ大使の表敬を受け、両国の貿易関係の強化及び民間部門における協力の新たな機会の創出について意見交換。

●5月25日、ヨニス・エネルギー大臣は Moussa Kone アフリカ開発銀行（AfDB）プロジェクト・マネージャーをヘッドとする AfDB 代表団の表敬を受け、ジブチ・エチオピア第二送配電線接続プロジェクト及びジブチの脆弱世帯1万戸への電力供給プロジェクトについて協議。

【保健・衛生・社会】

●5月3日、ムナ女性・家族大臣はジェンダーにもとづく暴力の監視に関するフォーラムを開催し、同フォーラムにおいて女性に対する暴力にかかるデータを収集・共有するためのデジタル・システム能力の向上について議論。同フォーラムには、バードン法務・刑務大臣、アフメッド保健大臣、ブルハン国防大臣が出席。

●5月8日、ラドワン通信大臣は Elif Comoglu Ulgen トルコ東・南部アフリカ関係局長の表敬訪問を受け、両国の友好と協力関係のさらなる発展について協議。また、ジブチ国営放送 RTD とトルコ関係機関とのパートナーシップ確立について意見交換を実施。

●5月11日、ゲレ大統領はアリ・サビエ州を訪問し、アリ・サビエ州総合病院の医療機材の整備及び施設完工式に出席。同病院は186名の医療関係者、117床のベッドを有する医療施設。

●5月11日、保健省及び政府間開発機構（IGAD）はジブチ国内の疾病把握、疾病発生時対応管理、疾病分析にかかるシステムのデジタル化プロジェクトを開始。同プロジェクトは、保健省、IGAD、ドイツ国際協力公社（GIZ）、ドイツのコンサルティング企業 Speedykom 及びドイツNPO・SORMA Foundation の代表から構成される委員会及び専門家によって、2023年末まで実施される予定。

●5月24日、ラドワン通信大臣はジブチ初となる民間通信事業者 Afrifiber のサービス開始を祝うセレモニーに出席。同社は新たなインターネット・サービス・プロバイダーとして、今後、光ファイバー網を整備し高速通信サービスを提供する予定。

【軍事・治安】

- 5月15日、サイド内務大臣は不法入国者の取締りキャンペーンの一環として実施されている不法労働者の移民登録証のジブチ市内での発行準備状況を視察。
- 5月30日、ユスフ外務・国際協力大臣及びハッサン国防大臣はパリを訪問し、コロンナ・フランス欧州・外務大臣及びルコルニュ・フランス軍事大臣との間で、「2+2」形式の協議を実施。

【日本関係】

- 5月4日～7日にかけて、アライタ前駐日ジブチ大使は、自身が出版した駐日大使時代の経験や日本外交等に関する内容を記した著書「Mes années au soleil levant à l'ombre du drapeau de Djibouti」の出版に際して、ジブチ国内で文学集会キャラバンを実施。5月10日には、ジブチ市内で同著出版イベントを開催。
- 5月8日、アルタ・ホテル高校において、山下公邸料理人、同校で活動する西嶋海外協力隊隊員及び同校の協力のもと、約20名の同校生徒に対する日本料理教室を実施。
- 5月10日、フクザワ中学校において、同校生徒と海上自衛隊の護衛艦まきなみの乗組員のチームによる親善試合を開催。
- JICA地球規模課題対応国際科学技術協力（SATREPS）の枠組みにてジブチ大学及び東京農業大学の研究者が共同で実施している研究プロジェクトの一環で、アベ湖においてジブチで初めてのスピルリナを発見。
- 5月17日、大塚大使はタジュラ州知事及びタジュラ州議会議長同席のもと、令和3年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「タジュラ州ホフォル村地下貯水槽建設計画」の引渡式に出席。
- 5月18日、大塚大使はオボック州副知事及びオボック州議会議長同席の下、令和3年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「オボック州メデホ村地下貯水槽建設計画」の引渡式に出席。
- 5月14日～16日、JICA調査団がコミュニティーと学校との協働を促進し、住民参加型の学校運営改善を目指すための学校運営委員会設置プロジェクト（JICA個別専門家・学校運営改善アドバイザーの派遣）の評価を目的として、アリ・サビエ州を訪問。
- 5月25日、ユスフ外務・国際協力大臣及び大塚大使は、令和5年度対ジブチ無償資金協力「ジブチ市三次医療病院における医療機材整備計画」に関する交換公文（E/N）に署名。
- 5月29日、日本国大使館と世界食糧計画（WFP）は、WFP地域ロジスティクス・センターにおいて、日本資金で購入されたリーファー・コンテナの引渡式を実施。

（了）